

令和7年1月23日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年 1月 23日（火）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

【行政からの伝達事項】

・市内の事業所でコロナ・インフルエンザ感染発生の報告がある。感染対策を引き続き行って欲しい

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.3（1～5）

【活動状況】

- ・ドライブ・訪問カット
- ・新聞折り・塗り絵・壁画作り・体操・下肢訓練・編み物・パッチワーク
- ・季節行事～・ゆず味噌作り・クリスマス会・書初め・福笑い

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 7件（転倒～3件・異食～2件
・薬飲み忘れや薬が床に落ちていた～2件）
- ・ヒヤリハット 2件（転倒の危険・異食の危険）

【職員研修】

- ・高齢者虐待防止研修（ZOOM）
- ・介護福祉士勉強会参加
- ・災害 BCP 研修
- ・地域フォーラム
- ・感染症研修

【身体拘束適正委員会・虐待防止委員会】

- ・身体拘束事例はなし
- ・虐待自己チェック行う 詳細は職員会議で意見交換し検討していく

【その他】

○災害 BCP 研修会参加し、机上訓練であったが危機的な状況下での訓練で緊張感がある訓練になった。職場でしている訓練は災害状況が軽い状態を想定した訓練を行っていたが、今回の研修は最悪な状態を想定した訓練で災害直後に行う事、3 日間で行う事、1 か月以上の長期に考える事等、多くの事を長期的に考え対処していかないことを少しでも感じる事が出来た。

避難場所が課題のように思う。近くに公民館や学校等の施設がないのとふれあい会館は低い場所にある為水害等の危険があり避難場所としては危険と思われる。



（地域の方より）

避難場所がふれあい会館となっているが、水害等は対象にならない為、近場で広い避難場所といえば県高跡地しかない。しかし県高跡地を吉田地区全体で避難場所になるよう申請したが、県の所有の土地ということで申請は受け入れなかった。

又ふれあい会館にはワイハイ環境がない為、ワイハイの設置申請をしたが集会所のため申請は通らなかった。運動公園への避難となるが、近場ではない為難しい。避難場所が課題である。

○研修について

（地域の方より）

研修が多いようだが、大変ではないか。

2025 年問題で 5 人に 1 人は 75 歳以上となり、介護が必要となる人は増えるが、介護事業所の倒産等があることが新聞に掲載されていたが今後は大丈夫なのか。介護職の賃金アップも出来ない状況があるのではないか。



- ・災害 BCP や虐待防止研修等、必須研修も多く重なると職員人数も少ない中で参加するのは大変である。

- ・介護人材不足は続いており、賃金についても物価高騰もあり、事業所努力だけでは厳しい。介護報酬が影響する。

○コロナやインフルエンザが流行していた為、年末年始は病院も長期的な休みとなり、不安があった。

○地域行事について

- ・8日・9日にふれあい会館祭りがある

ホームで作品等があれば展示が出来るので持参して欲しい



今年は昨年に作成したものを持参し展示してもらう事にする。